

「やりたい！」を見つけて、 夢中になつて遊び込む子を育む ～園児とともにを行う環境構成の工夫～



浦添市立牧港こども園
保育教諭 真境名 葵

1. 園の概要

牧港こども園は...

浦添市牧港に位置し、海外の
産物や文化を受け入れた琉球最
古の貿易港として栄えていた場
所にある。



1. 園の概要

園庭には大きなガジュマルやビオトープ、土山等自然を存分に感じられる環境となっている。

園児数

クラス	人数
3歳児	20名
4歳児	24名
5歳児	30名
計	74名



2. 主題設定の理由



子どもを取り巻く遊びの環境の変化により

- ・自ら遊びを考える
- ・遊びの中で試したり工夫する
- ・友達と一緒に遊ぶ

コミュニケーション力

→ 減少
→ 低下

2. 主題設定の理由

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

領域「人間関係」

ねらい(2)

「身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ」

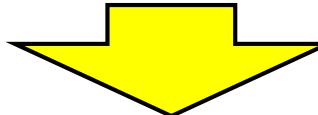


2. 主題設定の理由

本園の実態として



様々な遊びに興味関心を持っている



- ・遊びが続かず転々として過ごしている
- ・イメージはあるものの、言葉で表現できない
- ・難しい場面になると諦める
- ・個々で遊び、遊びが広がりにくい

2. 主題設定の理由



サークルタイム



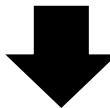
3. 研究の視点

- 子どもの興味、関心を捉え、各クラスの実態に合わせたサークルタイムを通して、園児の思いを実現するために、園児とともに遊びの環境を整えていく。
- 遊びを通して様々なことに関心をもち、知的好奇心を働かせ、探究につながっていくような環境構成の工夫を行っていく。

4. 研究の構想図

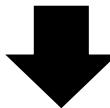
【園の教育・保育目標】

- つよい子（元気に遊ぶ子）
- なかよくする子（思いやりのある子）
- かしこい子（よく考える子）



【研究主題】

「やりたい！」を見つけて、夢中になって遊び込む子を育む
～園児とともに行う環境構成の工夫～



【研究の視点】

- 子どもの興味、関心を捉え、各クラスの実態に合わせたサークルタイムを通して、園児の思いを実現するために、園児とともに遊びの環境を整えていく。
- 遊びを通して様々なことに関心を持ち、知的好奇心を働かせ、探究に繋がっていくような環境構成の工夫を行っていく。

5. 主題の捉え

(1)遊び込むとは

『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範
意識の芽生え

社会生活との
関わり

思考力の
芽生え

自然との関わ
り・生命尊重

数量や図形、
標識や文字へ
の関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性と
表現

『身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる』

(1)遊び込むとは

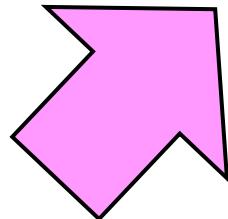


深い学び

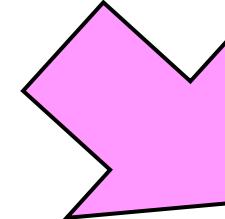
(2)園児とともにとは



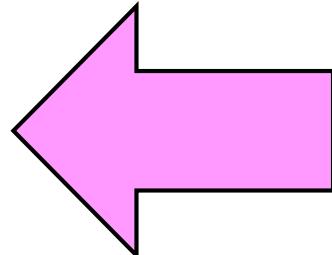
見通す(期待する)



遊ぶ



楽しかったなあ
またやりたいなあ



振り返る

(3)サークルタイムとは

クラス集団などで輪になって対話を行う活動

何でも話していい
雰囲気つくり

答えを求めるない

話し合った内容を
振り返ることができ
るようにする

話し合いを見守り
つつ、時に進む方
向性を導くことも
必要

話さない子も尊重



6. 実践事例

(3) 5歳児【虫のお家を作ろう！】

チョウチョがいるよ！



オタマジャクシを
捕まえよう！！



図鑑等を提示したことで…

カバマダラって
いうんだよ

足が生えているよ！

5歳児【虫のお家を作ろう！】

しかし...
捕まえることで満足し、世話をす
るという意識が低いという課題が

サークルタイム

捕まえた虫の紹介

命についての
話し合い



餌を探す

飼育ケースを
掃除する

観察後逃がす



5歳児【虫のお家を作ろう！】



廃材を活用して
虫のお家作り

サークルタイムで
紹介

もっと広いお家を
作ってあげたいな

観察できるよう
に窓を作ったよ

お家に段ボールが
ある人、持ってきて
ください！



5歳児【虫のお家を作ろう！】



イメージを
共有



協同して
遊び込む



5歳児【虫のお家を作ろう！】

〈考察〉

- サークルタイムを継続してクラス活動に取り入れることで、自分の考えや友達の考えに気付き、**試行錯誤しながら遊びを進めるようになった。**
- 自分の考えを受け入れてもらったり、友達の考えを聞いたりすることで、伸び伸びと安心してサークルタイムに参加するようになった。
- 園児同士が協力して遊びを進めていく姿が多く見られるようになり、**遊びに広がりが見られるようになった。**
- 家庭でも、園での出来事を話題にし、製作や遊びで必要な材料等を家族と一緒に準備する等、**目的意識をもって登園を楽しみにするようになった。**

5歳児【虫のお家を作ろう！】



小学校学習指導要領 生活科の目標(2)

「身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようとする」



《幼小接続に向けた公開保育の実施》

(1)～(3)の実践を牧港小学校区の保こ小連絡協議会の公開保育の中でも実施

参加者…牧港小学校(教頭・1～2年生の先生方)・

牧港こども園保育教諭・近隣園の先生方

○子どもの育ちを小学校以降の学習にどうつなげていくか話し合う。

○協議を終えて・・・

- ・小学校の先生方から「幼児期からサークルタイムを通して、『主体的で対話的な深い学び』を行っていることを知った」
- ・他園の先生方から「サークルタイムを取り入れた活動内容が遊び込むにつながっていて、ぜひ自園でも取り組んでみたい」

《幼小接続に向けた公開保育の実施》



成 果

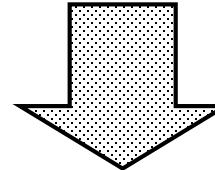
- 遊びの中での対話が増え、試行錯誤したり、協力したりしながら継続して遊び込むようになった。
- サークルタイムを通して、興味関心の高まり、やりたいことを見つけ、主体的に活動に取り組むようになった。
- 互いの良さを活かしながら遊びを進めていくようになった。

成 果

- 新たな発見に楽しさを見いだし、探究心が高まった。
- 友達の遊びに気付き、協同して楽しむようになった。
- ドキュメンテーションを作成したことで、家庭と共有・遊びの継続ができるようになり、期待感をもつことができた。

課題

- クラスだけでなく、異年齢との交流がさらに深まる
ような環境構成の工夫
- 今後も3年保育の良さを生かし、継続してサークル
タイムを取り入れる



自分や友達の思いを話したり聞いたりしながら、
やりたいことを実現できるようにしていく



ご清聴 あいがとうございました

